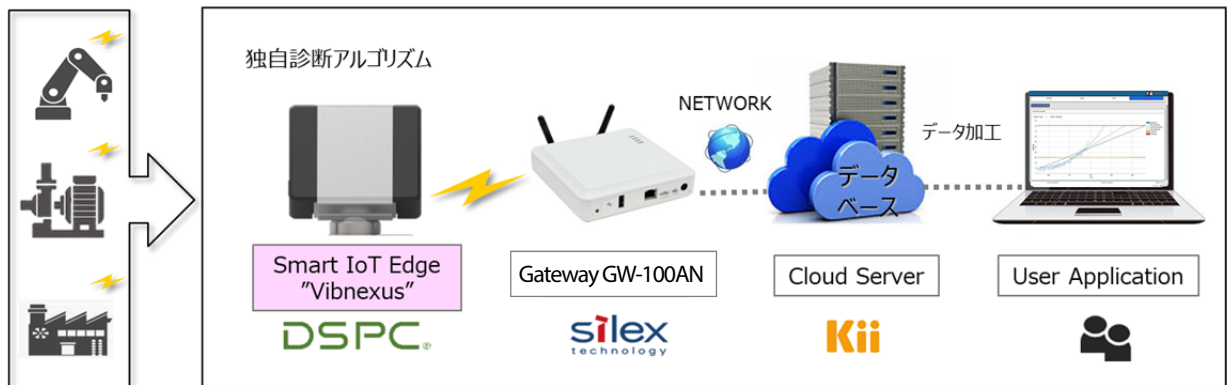


2018年 10月 24日
サイレックス・テクノロジー株式会社

サイレックス・テクノロジー、プログラマブルIoT ゲートウェイ『GW-100AN』が、
デバイス&システム・プラットフォーム開発センター製振動センサによる故障予兆診断ソリューションに採用

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社：京都府精華町、代表取締役社長：岡野喜男、以下 サイレックス)は、サイレックスのプログラマブルIoT ゲートウェイ『GW-100AN』(以下、GW-100AN)が、株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター(代表取締役社長：波多野 至、以下 DSPC)のSmart IoT Edge「Vibnexus」と、Kii株式会社(本社：東京都港区 代表取締役社長：鈴木尚志、以下、Kii)のIoT クラウドソリューション「Asset Monitoring」連携による産業機器メーカー向けの故障予兆診断ソリューションに採用されたことを発表しました。



一体型振動センサを用いた故障予兆診断ソリューション

現在、製造現場では、産業機械や設備の劣化による生産効率低下や生産停止を未然に防ぐための「予知保全システム」の導入検討が急速に進んでいます。しかし実際のシステム導入には、センサ機器・ゲートウェイ・分析・解析処理ソフトウェアの選定や、全体システムの構築のために、複雑な検討と開発投資が必要でした。

今回、振動センサ内蔵の DSPC Smart IoT Edge「Vibnexus」と、Kii のクラウド型 IoT ソリューションフレームワーク「Asset Monitoring」、及びセンサとクラウドの間を確実な Wi-Fi あるいはセルラー接続でつなぐサイレックスの『GW-100AN』の3つの主要要素を検証済みのパッケージとして用意することで、低コスト・短期間でのシステム構築を可能にしています。収集データを基にした機器の健康状態の把握や、独自診断アルゴリズムによる故障時期の予測、最適なタイミングでの機器メンテナンスによる機器稼働率向上、故障予防を実現します。

この故障予兆診断ソリューションは、2018年10月24日から千葉幕張メッセにて開催の「第4回IoT/M2M展(秋)」のDSPCブースで出展(ブース番号：20-43)され、今後順次、「Vibnexus」サンプル/開発キット販売・導入支援・コンサルテーションが開始されます。

サイレックスのゲートウェイと Linux Box

お客様で開発したアプリケーション追加と量産サービス投入頂くことを可能にするカスタム可能な Linux プラットフォーム製品です。ご要望により、お客様アプリケーションを含んだ形での完成品製造受託や、インタフェース拡張やお客様機器への組み込み、カスタマイズのご相談も柔軟に対応します。セルラーと Wi-Fi 接続が可能なプログラマブル IoT ゲートウェイ『GW-100AN』シリーズと、Wi-Fi のみの Linux Box 『LB-100AN』シリーズから選択が可能です。

- プログラマブル IoT ゲートウェイ 『GW-100AN/GW-100』 :

LTE モデム内蔵のアプリケーション組み込み可能なゲートウェイです。産業・OA 機器用途で汎用的なインタフェースに本機を接続することで、有線/無線 LAN を介した稼働情報等の収集端末として利用することができます。また、ダイレクトに遠隔接続できる M2M (Machine to Machine) VPN やクラウドゲートウェイ機能をサポートしており、お客様機器の IoT 化に向けたサービス実現に課題となるリモート接続・リモート監視機能への初期開発コストを極小化します。『LB-100AN/LB-110AN』と同様、開発キット利用によりお客様にて更に自社専用「データ収集・解析」アプリケーション開発が短期間で実現可能となります。

製品ページ : <http://www.silex.jp/products/gateway/gw100an.html?pr=181024>



プログラマブル IoT ゲートウェイ
GW-100AN/GW-100

- Linux Box 『LB-100AN/LB-110AN』 :

有線/無線 LAN に対応した Linux OS 搭載アプリケーション組み込み用 BOX です。産業・医療用途で多数のお客様において組み込み量産実績のあるデュアルバンドタイプ無線 LAN モジュール、無線 LAN ドライバと CPU プラットフォームをベースに、クラウドゲートウェイ機能等、アプリケーション開発に必要な機能を含む開発キットの利用により、お客様ご自身でサービスやアプリケーションの組み込みが可能です。これにより、無線 LAN 対応ネットワーク機器の新規開発時に大きな障害となるハードウェア開発やドライバの初期投資・開発コストを極小化します。結果、お客様はアプリケーションの開発に専念いただくことで、スピーディな製品の市場投入を実現可能にします。

製品ページ : <http://www.silex.jp/products/platform/lb100an.html?pr=181024>



Linux Box LB-100AN / LB-110AN

株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター (DSPC) について <https://www.dsp-cco.jp/>

株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センターは、神奈川県川崎市のIoT関連のデバイス開発、販売、及び社会実装のサポートサービスを行う会社です。多種多様なデータを活用して新たな価値が創出される「超スマート社会」を実現するために必須となる、超低消費電力なIoTデータ収集システムを開発し、社会実装を推進することで、IoT市場への普及・拡大を図って行きます。また、このデータ収集端末を普及拡大させる目的でエッジコンピューティングのプラットフォーム化を推進するための「エッジプラットフォームコンソーシアム」の運営も行ってあります。

- 社名 : 株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター
- 設立 : 2016年7月29日(準備会社設立日 2015年8月17日)
- 事業内容 : IoT関連デバイス、システムの調査・企画・開発・製造・販売と社会実装に向けたソリューションサービスの提供およびプラットフォーム化の推進

Kii について <https://jp.kii.com/>

Kiiは、IoTソリューションを支えるプラットフォームおよび同プラットフォーム上で動作するIoTソリューションをグローバルに展開し、世界各地で運用する日本企業です。Kiiのソリューション/プラットフォームは、機器のIoT化のみならずその先にあるビジネスモデルを支えるデータ活用も含めてサポートできる構造になっており、国内から世界各地へ拡大可能なサポート体制を整えています。

- 社名 : Kii 株式会社
- 設立 : 2007年11月13日
- 事業内容 : クラウド技術を用いたIoTソリューション及び、IoTプラットフォームの提供

サイレックス・テクノロジーについて <http://www.silex.jp/index.html?pr=181024>

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社:京都府精華町)は、機器をネットワークやワイヤレスにつなげるハードウェア・ソフトウェアの技術を核とした研究開発型企業です。

プリンタやMFPといったOA機器やワイヤレスルータなどのPC周辺機器をはじめ、医療機器・産業機器など確実な接続性が求められる機器にもネットワークやワイヤレスのノウハウを活かした製品を提案し、ビジネスの幅を広げています。品質基準を厳格に保つため、設計・開発・生産・品質保証といった一連のプロセスを「けいはんな本社」に集約しています。海外パートナーとの連携や新市場開拓、新技術の情報収集・開発などグローバルなビジネス展開のため、北米・欧州・中国・インドに拠点を設けています。

・記載された社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。



【本プレスリリースに関するお問合せ先】

■サイレックス・テクノロジー株式会社

PR担当窓口: グローバルマーケティングセンター 製品戦略室

E-mail: press@silex.jp

Tel. 0774-98-3781 Fax. 0774-98-3767



Twitter: @silex_marcom

http://twitter.com/silex_marcom



Facebook:

<http://www.facebook.com/silexjp>